

令和4年度6月教育委員会 会議録

開催日時	令和4年6月30日(木) 13:30~16:00	
開催場所	早島中学校 会議室	
出席者	委員	白神敬祐教育長、栗坂祐子委員、綾野克紀委員、市橋晃委員
	事務局	猪木浩二学校教育課長、吉見一成課長補佐、貝原丈雄課長補佐、藤井夏樹主任
会議次第	1 開会 2 議事・報告案件 (1) 早島中学校授業参観について (2) 6月議会報告について (3) その他 3 連絡 ・第1学期終業式 4 閉会	
会議資料		
傍聴者		
会議録作成者	藤井夏樹	

会議内容

<p>1 開会</p> <p>教育長あいさつ</p> <p>2 議事・報告案件</p> <p>(1) 早島中学校授業参観について</p> <p>白神教育長：暑い中、中学校の授業の様子を見ていただいた。授業の様子について、ご意見、ご感想、質問等があればいただきたい。</p> <p>栗坂委員：先生も生徒も暑い中で頑張っていると思った。全体的にとっても落ち着いていた。中学校の先生は講師の方が多いと思った。若い先生を育てていくことは学校にとって大変なことであり、またそこが面白いことであると思う。</p> <p>国語の授業で目当てが具体的に書かれていたのがよかった。スライドを使って授業をしている先生も多く、スライドの1ページに目当てが書かれていることもあったが、目当ては授業中ずっと子供たちにわかるほうがいいなと思った。</p>

2年生の数学の授業に1つの教室で標準と発展の2コースを行っていた。一人の先生が授業をしていて発展の人は自習をしていたが、日ごろからこのように授業をしているのか。

田野校長：普段は二つの教室に分かれて、それぞれ別の教員が授業をしているが、本日は一人が出張だったため、一人で授業を行っていた。

市橋委員：私も数学の授業が気になった。発展の子は自習になっていて、もったいないと感じた。全体的には昨年と比べると落ち着いているように感じた。ある授業で先生がずっと一人の生徒に付いていたのは少し気になった。

田野校長：書写のことだと思うが、私も同じことが気になった。支えが必要な生徒だったのかもしれないが、そういったことは伝えておく。

綾野委員：先生もプロでさすがだなと思いながら授業を見ていた。スライドを使って授業をするようになったからなのかかわからないが、全体的に字が小さくなっていて見にくいような気がする。

田野校長：スライドと関係あるのかはわからないが私も感じている。

池田教頭：スクリーンが黒板の真ん中にあり、黒板のスペースが小さくなっているからかもしれない。また、スライドを使うことで、スライド内の1ページの情報量が多くなってしまい、それにあわせて字が小さくなっているのかもしれない。

(2) 6月議会報告について

白神教育長：6月議会報告について事務局から説明をお願いします。

猪木課長：令和4年6月議会が6月6日から14日まで開催された。その中で教育委員会に関する事項についてご報告させていただく。

猪木課長：まず、全員協議会で報告した事項について順に説明する。

吉見課長補佐：いかしの舎の指定管理についてご報告させていただく。いかしの舎の指定管理の期間が今年度で満了になる。現在、次の3年間の事業者を公募する流れになっている。そうした中で、6月議会において次の3年間の指定管理料761万9,000円の債務負担行為も今議会で議決をいただいた。

猪木課長：令和3年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書について、5月に教育委員会で報告した事項を議会でも報告した。これについて質疑は特になかった。

次に学級閉鎖等臨時休業における家庭学習の状況について説明をした。ICT機器を使った家庭学習をしているのかと質問があった。小学校では学級閉鎖等が発生したときにタブレットで健康観察を行い、出された課題についての学習会をオンラインで行い、その課題に取り組む活動をしている。その後、午後から課題について、わからなかったこと等の質問タイムを設けると

いった取り組みを行っていた。中学校は健康観察のみで、学習についての活動は行っていなかった。先日、中学2年生で学年閉鎖があったが、それを機に教科ごとに出している課題に対して一日4教科分、学年閉鎖が2日間だったので合わせて8教科分の課題とその学習会を行った。

これからも、コロナだけでなく台風等気象警報による学校の閉鎖もあり得る。小学校はクラス担任なのでクラスごとにオンラインで学習会ができるが、中学校は教科担任制でクラスごとに一人の先生をつきっきりにすることはできないが、時間を区切って手の空いている先生を回す等の検討をしながら、オンラインでの学習の手法を確立していきたいと思う。

次に、補正予算関係について、いかしの舎指定管理に伴う債務負担行為は先ほどお話をさせていただいた。学校給食費支援事業ということで、新型コロナの地方創生臨時交付金事業が行われ、給食費の支援事業を行う。これは物価の高騰対策を行うというのが主な内容となっており、これを活用して学校給食会計に支援を行う。具体的には小学校の給食1食当たり20円、中学校で1食当たり30円の支援を行う。このことについても議会で議決をいただいた。

白神教育長：ここまでで何か質疑はあるか。

市橋委員：次に学級閉鎖になった場合は、オンラインで授業をするようにできるのか。

猪木課長：中学校ではまだ確立できていない。小学校と同じように時間を調整しながらできたらよいと思っている。前は学年閉鎖だったため、学年団の先生が全員いたので交代で実施したが、学級閉鎖となると学年団のほかの先生が空くわけではないので、そのあたりの問題を検討してできる方法を考えていきたい。

白神教育長：学級閉鎖中のオンラインの学習会は授業日数には入らない。ただ、授業日の中でスムーズに授業を行えるようにつなぎのような面で授業を行った。

次に一般質問で教育長の所信表明を2名の議員からいただいた。先の質問に対しては学校教育ビジョンの具現化が必要ということで答えた。早島の学校は教員で若い人が多く、教員の指導力も上げながら、また、子供の前に立つ先生は元気であってほしいので、先生をそのようにできる環境づくりを学校等の要望も聞きながらするというので所信表明をさせてもらった。

もう一人については、学校園経営のあるべき姿について話をした。やはり、学校の要望を聞きながら支援をしたいということで、先生が元気に子供の前に立てる環境づくりをしたいということをお伝えした。

猪木課長：ヤングケアラー調査の実施と取り組みについてという質問があった。ご存じのように、国がヤングケアラーの認知度を上げようとする動きをしている。

早島町で調査の実施の有無や、その結果についての質問を受けたが、早島町ではヤングケアラーに特化した調査は実施していない。この問題の調査は難しく、どこまで突っ込んだ調査をすることができるのかわからない。調査の質問の仕方によって周りの人の世話をすることが悪いことのように感じられることがあってはいけませんが、困っている子供がいることを放置することもできない。中学校ではいじめに関する調査を毎月行っており、その中で関連して困っていること等を拾っていく調査をできたらよいかもしれない。その後、学期ごとに実施している教育相談で気になる子供については詳しく把握をしていくのがよいのではないかと現状では考えている。

給食費の負担軽減についての質問があった。これは先ほどの補正予算と同じように支援していく回答をした。物価が高騰する中で、同じ保護者負担で少しでも質を高めた給食を維持していきたいと考えている。

吉見課長補佐：深砂公園のテニスコートの利用料金について、高齢者に対する減免ができないのかという質問があった。現在のテニスコートの料金は1コート1時間500円で、夜間照明を使用すると1時間400円の加算となっている。近隣市町村の状況も確認したところ、倉敷市や岡山市でも高齢者の利用について何かしらの減免を行っていることがわかり、早島町もそれに合わせて前向きに検討していくということになった。深砂公園は都市公園であり、その中に設置されているテニスコートは都市公園使用料減免規程によって管理されている。この規程の中には半額までの減免を可能にする条文があり、これを準用し概ね半額の減免が実現するように制度設計を行おうと考えている。

猪木課長：学校での熱中症対策について質問があった。学校でのエアコンの利用状況について質問であったが、学校の一部のクラスでは、コロナ対策で窓をたくさん開けたままエアコンを使用されており、暑い中で授業が行われているような状況が確認された。エアコンの使用と窓の開け方のルールが統一されていなかったということで、今後はルールを統一しエアコンを使うときは対向の窓だけを開けてなるべく教室を冷やすようにするようしていく。

それから給水対策についても質問があったが、学校では熱中症対策として必要な水分は持ってくるように指導しているが、全て飲み切ってしまうこともある。その時は水道水を使用するように指導をしている。学校の水はポンプアップされた水であり衛生面を心配している声もあるが、もちろん点検もしており安全上問題はない。ただ、直結方式の学校もあり、直結だと水道の水がそのまま出てくるので、その方が冷たい水が出るということもあるから今後はそういった方法もできないか検討していきたい。

登下校について、登下校というわけではないが、一昨年にコロナの関係で

夏休みが短くなり、暑い時期に学校に行ったことがあったが、今年はどうなるのかということで、今年度は学級閉鎖の基準を変更したこともあり、授業日数が不足するというようなことも生じていないので、夏休みは短くなることはないと説明した。

白神教育長：ご意見や質問等はあるか。

綾野委員：ヤングケアラーに関することは教育委員会が担当ということになるのか。

白神教育長：ヤングケアラーの調査を学校内ですることについては教育委員会がすることであると考え。ただ、ヤングケアラーの実態を把握した後については健康福祉課等との協力が必要になる。お互いに協力しながら支援を行うことになる。

栗坂委員：子供の不登校傾向については学校がよくわかっている。そういった子供と教員が接していく中でヤングケアラーの発見ができる場合もあると思う。

白神教育長：最後に議会から幼稚園職員配置に係る緊急要望が提出された。この要望については町長とも協議をしながら必要な対処をしていきたいと思う。

(3) その他

なし

3 連絡

猪木課長：7月19日が終業式で夏休みに入る。8月25日が小中学校の始業式で幼稚園は9月1日が始業式となる。

4 閉会